

羅針盤

進路通信「羅針盤」

進級おめでとうございます。いよいよ最上級生となりました。義務教育最後の一年です。それは同時に「受験生」になったということでもあります。進路について、少し学年集会でも話しました。進路とは、高校へ行くことだけを指すものではありません。自分の未来へと進む路を探すことです。みんなで一緒に、一人ひとりに合った進路を見つけていきましょう。

今年度の進路通信のタイトルは「羅針盤」にしました。世界三大発明の1つ、羅針盤。「コンパス」「方位磁針」と言われた方が、わかりやすいかもしれません。船舶や航空機の方位・進路を測るための器械です。

進む路は自分で決めなければなりません。そのサポート、助けとなるものが進路通信です。進路に関する情報(オープンハイスクールや奨学金など)を掲載していきます。自分で読むのは勿論ですが、保護者の方にも読んでもらいましょう。「読んでいなかった」「知らなかった」ということで自分も保護者も困ることがあります。進路の決定は、保護者との相談なしに進めることはできません。この進路通信に限らず、高等学校のパンフレットなど、進路に関わるものはすべて保護者と一緒に見る習慣をつけましょう。

進路通信のためのファイルを注文しています(まだ届いていませんが)。綴じていってください。

平成 30 年度全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者である都道府県教育委員会、市町村教育委員会、学校法人、国立大学法人、公立大学法人等の協力を得て実施するものです。

調査実施日:4 月 17 日(火)

目的:義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

内容:①教科に関する調査

○国語・数学・理科の3教科について、国語A・国語B・数学A・数学B・理科の調査を実施します。

○出題範囲は、中学校第2学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの強化に関し、以下のとおりとします。

〔国語A、数学A〕

○身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において

不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など(主として「知識」に関する問題)を中心とした出題

〔国語B、数学B〕

○知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容(主として「活用」に関する問題)を中心とした出題

〔理科〕

○主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

②質問紙調査

○生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

結果:生徒一人ひとりの調査結果は後日「個人票」として配布されます。学校の成績には入りません。

時間割:SHR…準備

1 校時:国語A(準備 5 分・テスト 45 分)

2 校時:国語B(準備 5 分・テスト 45 分)

3 校時:数学A(準備 5 分・テスト 45 分)

4 校時:数学B(準備 5 分・テスト 45 分)

5 校時:理科(準備 5 分・テスト 45 分)

6 校時:生徒質問紙

持ち物:●HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可、ボールペンは不可)

●消しゴム

※定規・コンパス・分度器等、上記以外のものは使用しないでください。

今年度のテストの日程(予定)

4 月 13 日 課題実力考査

5 月 17・18 日 中間考査

6 月 20～22 日 期末考査

8 月 30 日 課題実力考査

10 月 4・5 日 中間考査

11 月 2 日 実力考査

11 月 20～22 日 期末考査

1 月 8 日 課題実力考査

2 月 20～22 日 学年末考査

中学校生活で残されたテストも、もうこれだけしかありません。1 回 1 回を大切にしてください。あくまで予定ですので、変更もあるかもしれません。